

中部 民間開発NEWS

建通新聞 電子版

会員募集中

豊橋駅前再開発

25年3月まで延長

12月にも権利 変換計画認可

【愛知県豊橋市】豊橋駅前大通二丁目地区市街地再開発組合(豊橋市駅前大通2ノ33ノ1、石黒功理事長)は、豊橋駅前再開発事業について、市から事業計画変更の認可を受けた。今後は、12月に権利変換計画の認可を受ける見込みだ。

変更した
住宅、駐車場の他、豊橋市

の
は、事業施行期間を2023年12月から25年3月まで延長した他、再開発ビルの総延べ床面積を約5%縮減した。再開発事業を進める特定業務代行者は鹿島で、工事を担当する。また、基本・実施設計はアール・アイ・エー・K計画事務所JVが担当。

事業内容は、既存の名豊ビルなどを撤去し、東棟と西棟で構成する再開発ビルを新築する。規模は東棟が鉄筋コンクリート一部鉄骨造地下1階地上24階建て延べ3万3700平方メートル、西棟が鉄筋コンクリート一部鉄骨造地下1階地上20階建て延べ1万4800平方メートル。敷地面積は東棟が4996平方メートル、西棟が2250平方メートル。

施設概要は、商業施設、住宅、駐車場の他、豊橋市

が計画する図書館と東西を結ぶ「まちなか広場」(仮称)を整備する。今のごころ18年1月ごろに、東棟の2ノ32ノ1他。

建設に向けた解体へ着手する見込みだ。
建設地は豊橋市駅前大通

再開発